令和８年10月改定

片品村　下小川地区防災計画

役場HP（片品村全３２地区防災計画一覧）
https://www.vill.katashina.gunma.jp/（役場HPトップ）
役場の概要 > 各課のご紹介 > 総務課 > 庶務係 > 防災 > 片品村地区防災計画

１．基本方針

　尾瀬かたしなエリアゼロカーボンパーク登録を機に宣言された「片品村５つのゼロ宣言2050」の柱である自然災害による死者ゼロを目指し、下小川地区住民の防災意識をより高め、ハザードマップ等を主体的に活用し、住民自ら防災情報の取得を行うことにより死者ゼロを達成する。

２．災害特性

　土砂災害警戒区域および洪水浸水想定区域に隣接した場所に、多くの住宅が立地されている。

３．平時の活動

　平時から危険箇所や避難場所などの確認を行い、事前避難の必要性を認識する。なお、要配慮者の支援については福祉関係者会議で確認したとおり実施する。

４．災害時の活動

　組長を中心に消防団（救助、消火）班長（連絡、捜索）など公的支援が得られるまでの期間、協力して命を守る行動をとる。また、炊き出し、支援物資の仕分けなど状況に応じて協力して対応する。

５．避難訓練

　梅雨の時期になる前に、平時の活動を再確認し、「わたしの避難行動」による避難行動を訓練しておく。

６．計画の構成

　この計画の構成は以下の通りである。

・平時の活動として日ごろから気を付けておくこと（１ページ）
・自主避難行動（２ページ）
・災害時緊急避難地図（３，４ページ）
・わたしの避難行動（５ページ）☞平時にチェック、入力する
　※必要に応じて修正を行う。

平時の活動として日ごろから気を付けておくこと

! 土砂災害の危険性　~発生すれば逃げる間もなく家ごと破壊~

下仁田町中小坂（がけ崩れ）



出典：群馬県

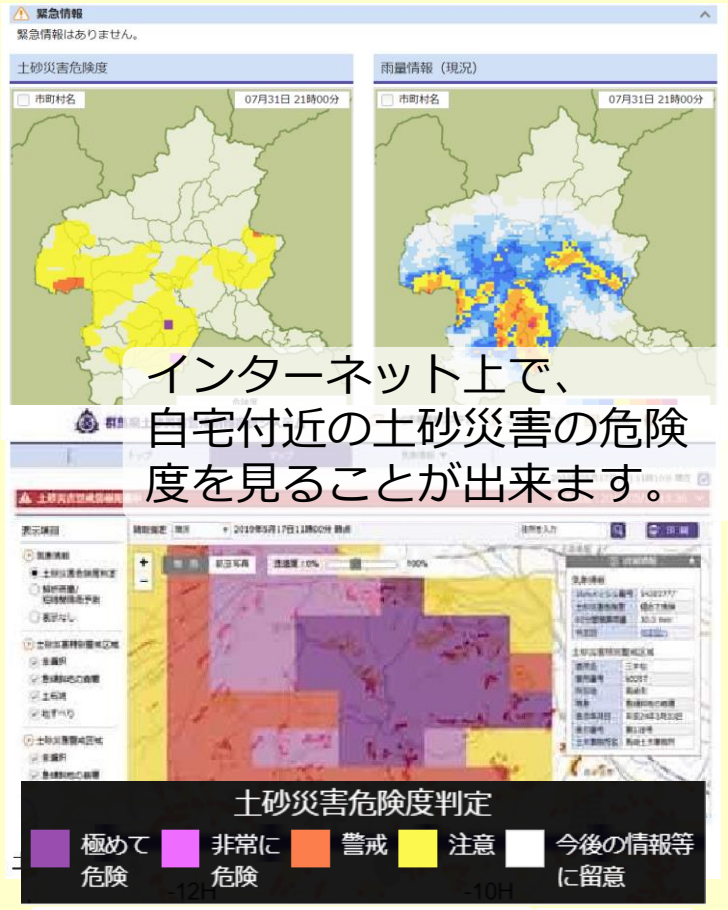
藤岡市上日野（土石流災害）



出典：群馬県

! 土砂災害や河川の氾濫に関する情報

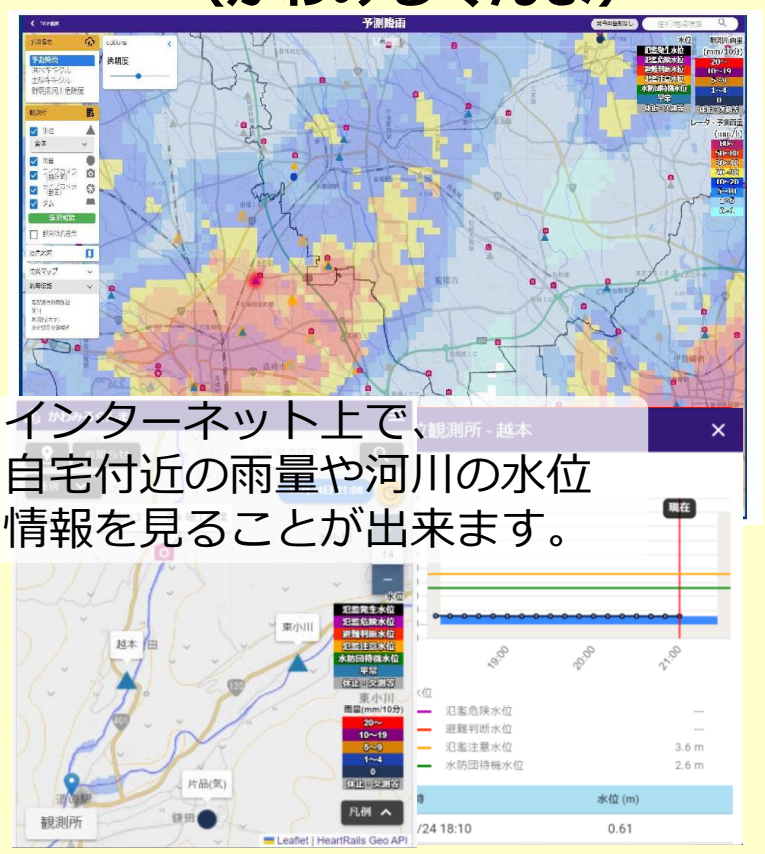
群馬県土砂災害警戒情報



インターネット上で、
自宅付近の土砂災害の危険度を見ることが出来ます。

https://www.dosya-gunma.jp/sp/

河川水位・雨量情報（かわみるぐんま）



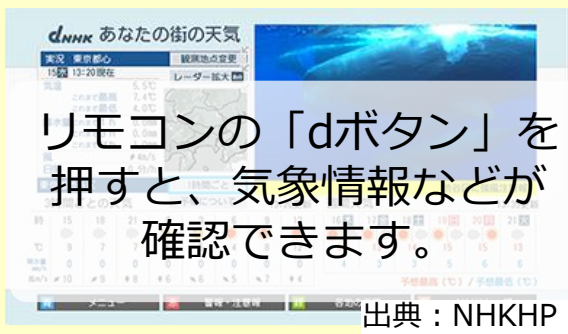
インターネット上で、
自宅付近の雨量や河川の水位情報を見ることが出来ます。

https://mobile.suibou-gunma.jp/

テレビデータ放送（dボタン）







リモコンの「dボタン」を押すと、気象情報などが確認できます。

出典：NHKHP

! 片品村からの情報に注意

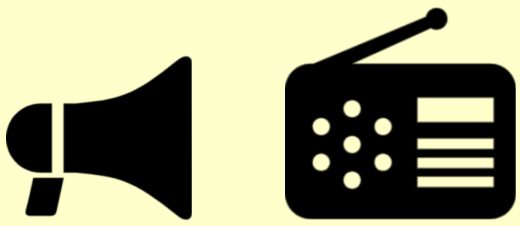
令和8年5月29日より、新たな防災気象情報となりました。

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、次のような情報が発表されます

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	（警戒レベルごとの）住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	命の危険　直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>				
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報			災害への心構えを高める

詳しくは、気象庁ＨＰ

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/keiho-update2026/index.html



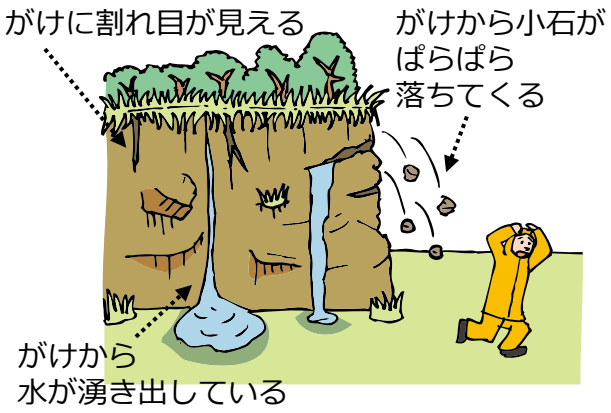
防災無線、個別受信機の情報に注意しましょう。

下小川地区　自主避難行動

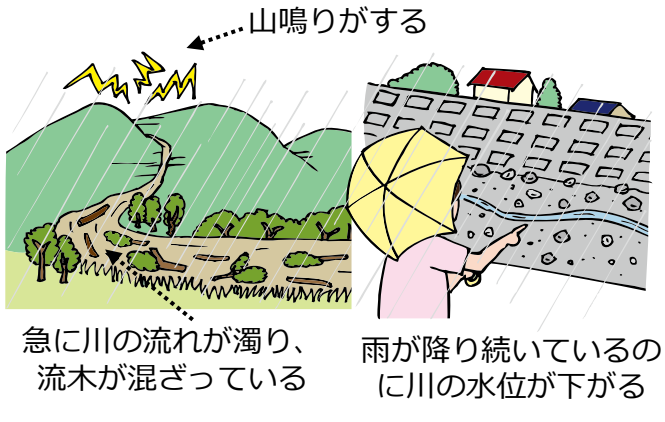
自主避難のポイント

- 土砂災害や河川の氾濫に関する危険情報（１ページ）を確認しましょう。
- 自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。**1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。**
  (寸胴形の容器等を利用することで雨量の目安が把握できます)
- 土砂災害の前ぶれには一例として下記の現象があります。

がけ崩れの発生前には・・・



土石流の発生前には・・・



地すべりの発生前には・・・



- この様な現象を見に行くことは危険です。**絶対にやめましょう。**
- いつもと違う状況を確認したら、**すぐに避難しましょう。**
- 水害・土砂災害につながると思われる状況を確認したら**すぐに避難しましょう**

自主避難の検討

災害時緊急避難地図を参照

１：地域内のがけや沢で土砂災害の前ぶれが確認された場合
２：大滝川の水位が氾濫危険水位になった場合（千明大平宅前水位計）
３：国道１２０号線からみて水位の上昇が見られた場合（学校橋付近など）
ハザードから離れた住宅はその場に留まることも避難行動（緊急避難時）
日光白根山の噴火に伴う融雪型火山泥流等に注意

- **いざというときの避難対応**

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

■地域内外にかかわらず、より安全と思われる場所への避難が可能なとき

➡ **村の指定避難所（東小川体育館）** へ避難

■遠くまで避難するのが危険な状況のとき

➡ **比較的安全と思われる場所や建物** へ避難

■すぐにでも身の安全を確保する必要があるとき

➡ **自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた最寄の建物の2階以上** へ避難

片品村　下小川地区

災害時緊急避難地図

情報集約で把握した地域内の土砂災害危険箇所（令和８年６月時点）

降雨時に確認される**予兆現象**

過去に**発生した災害**

指定避難所・自主避難所等

その他の事柄

凡例

境界　市町村境界　行政区境界

洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域等
20m以上	土砂災害特別警戒区域(急傾斜)
10.0m～5.0m未満	土砂災害警戒区域(急傾斜)
5.0m～10.0m未満	土砂災害特別警戒区域(土石流)
3.0m～5.0m未満	土砂災害警戒区域(土石流)
0.5m～3.0m未満	土砂災害警戒区域(地滑り)
0.5m未満	

0　150　300　450　600　750 m

1/8,000



出典：洪水浸水想定区域
（群馬県県土整備部河川課）

出典：政府統計の総合窓口
（https://www.e-stat.go.jp/）

100年以上前大滝川で土石流が発生し、住民が千明牧場へ逃げた（言い伝え）

の水位が上あった

水害、河川氾濫等が発生

白根
トレーニング
センター

中井
住民センター

穴沢集会所

大字東小川

会所

東小川体育館

土砂災害あり

・おあい坂付近の川の氾濫
・おあい坂山側の沢の氾濫

N

（e-Stat）　出典：国土交通省国土数値情報ダウンロードサイト（https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A33-v1_4.html）　「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 493」

下小川地区　わたしの避難行動

自宅は危険な区域に入っていますか ▶「災害時緊急避難地図」を確認しましょう

私の家は　□区域内（□土砂災害警戒区域・　□洪水浸水想定区域）　□区域外です。

▶区域内にチェックを入れた方は、以下のフローに従って避難してください。
▶区域外にチェックを入れた方は、③の行動を取ってください。

①雨が降り始めたら、雨や川の状況に注意を払う

土砂災害や河川の氾濫が起こる情報を確認できるようにしてください。
（インターネットで雨や川の状況を見る。テレビのデータ放送をつける。）

TV

②避難が必要な状態になったら避難する

私は　□テレビ　□インターネット　□その他［　　］の情報をもとに

いつ　□高齢者等避難・レベル３　□避難指示・レベル４

誰と　□一人で　□家族と　□地域の人と　□その他［　　］

※避難の呼びかけを近所の方に行いましょう

何で　□徒歩で　□車で　□その他［　　］

緊急避難：移動に危険を伴う場合は、自宅を含めてがけや沢から
少しでも離れた頑丈な建物の2階以上へ避難

事前避難：安全に避難できる場合は、少し遠くてもより安全な場所へ避難 をします。

緊急避難（屋内退避・安全確保）

□家の近くのコンクリート構造の建物

□家の近くの2階以上の建物

□家の中のがけや沢から少しでも離れた部屋

避難場所:

※避難中の被災を避けるための行動であり、
建物ごと被災する可能性があります。
事前避難を心がけましょう。

事前避難（立ち退き）

□片品村が指定した避難場所へ避難

避難場所:

□安全な親戚・知人宅へ避難

避難場所:

□安全なホテル・旅館へ避難

避難場所:

□車で安全な場所まで避難・その他

避難場所:

③安全が確保されたら報告体制に従い報告する。

